

国際興業バスの運賃改定申請及び区コミュニティバスの運賃改定について

国際興業株式会社は、令和6年8月23日付で、東京都内の路線バスにおける乗車運賃の改定を実施すると発表した。これを受けて、国際興業バスと同一の運賃体系としている区コミュニティバス「りんりんGO」（以下「りんりんGO」という。）の運賃改定を実施することとし、以下のとおり報告する。

1 区内の路線バスの現状

板橋区では、区内外の鉄道駅を結ぶ形で路線バス網が形成されており、その路線のほとんどが、国際興業バスの路線である。

また、区内の「公共交通サービス水準が相対的に低い地域」に対する取組みとして、区の補助のもと、国際興業株式会社が下赤塚駅～新高島平駅間で「りんりんGO」を運行し、地域の公共交通サービス水準の向上を図るとともに、区内の観光・文化の振興に寄与している。

なお、国際興業バスは、令和5年11月1日に都内路線バスの乗車運賃の改定を約26年ぶりに実施している。

2 運賃改定の概要

- (1) 運賃改定実施予定日 令和6年10月1日（火）
- (2) 対象路線 国際興業バス 東京都内の全路線
（「りんりんGO」を含む）
- (3) 現行・申請運賃比較

	現行運賃		実施運賃（予定）	
	現金	IC	現金	IC
都内普通旅客運賃	230円	230円	240円	230円 [*]
同 定期券（通勤一か月）	10,250円		10,250円 [*]	
IC一日乗車券	700円		800円	
彩京のびのびパス（六か月）	22,000円		25,000円	

^{*}IC運賃および定期券については、令和7年10月1日に金額を改定予定としている。

（参考）国際興業(株)HP「東京都内ほか 路線バス（乗合バス）の運賃改定の実施について」

https://5931bus.com/news_details/id=3726

3 改定理由

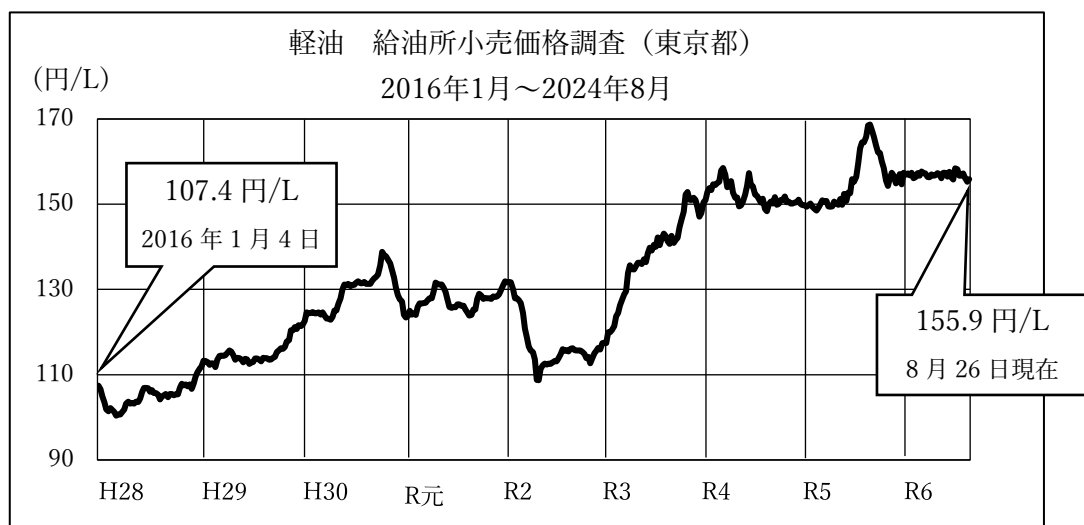
(1) 国際興業バスに関して

- ・ 少子高齢化やマイカー・自転車等との競合、コロナ禍の影響によって公共交通機関の需要が低迷している。
- ・ バス運転士を中心とした人材不足が業界全体で深刻化しており、人材確保のため人件費が増加している。
- ・ 燃料費の高騰に加えて、安全対策をはじめとする定期的な車両代替・利便向上策・環境対策等のコストが増加している。

(2) 「りんりんGO」に関して

- ・ 補助金額*が人件費と燃料費の上昇に伴って増大しており、令和5年度は令和2年度と比較して約500万円増加しているため、運行経費に対する収支率の改善を図る。
- ・ 国際興業バスと同一の運賃体系を維持することで、国際興業株式会社が発行する各種の乗車券類等の取扱いを揃え、地域における一貫したバスサービスの提供を継続する。

※「りんりんGO」は運行経費と運賃収入の差額を区が補助している。



出典：資源エネルギー庁 HP「石油製品価格調査」令和6年8月19日現在

4 今後の取組み

公共交通機関の利用者減少による収支の悪化や、人件費・燃料費の高騰による運行経費の増加、運行における担い手不足などは、区内公共交通の減便や路線廃止につながっていく。区内の利便性の高い公共交通サービスを維持していくためには、公共交通の利用促進の取組みを積極的に行っていく必要がある。